第 20 講 【現代編】冷戦の成立とその対立
PART5 疲弊する二大国

Chapter 1　ベトナム戦争とアメリカの疲弊

目標　アメリカ大統領のジョンソンやニクソンがベトナム戦争にどのように対応したのかを知ろう。
ベトナム戦争がアメリカに与えた影響について学ぼう。

1　ベトナムの状況

1954 年　**インドシナ戦争**の休戦協定**ジュネーヴ休戦協定**が結ばれ，フランス軍が撤退
※北緯 17 度線を境に南北に分断される。

1955 年　南部に〔　　　　　　　　　　　〕（**南ベトナム**）が成立
※アメリカに支援された**ゴ＝ディン＝ジエム**が独裁政治を行う。
→反米・反政府運動が高まる

1960 年　ゴ＝ディン＝ジエム政権打倒と南北統一を目指して
〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕が成立
※ベトナム民主共和国（**北ベトナム**）と連携してゲリラ戦を展開。
→アメリカの**ケネディ**大統領は，南ベトナムへの支援を強化

2　アメリカのベトナム介入

1963 年　ケネディ大統領が暗殺される

1964 年　〔　　　　　　　　　　〕政権下のアメリカで**公民権法**が成立
※以降，公民権運動が盛んになる。

1964 年　**トンキン湾事件**がおこる
※アメリカの軍艦がトンキン湾で，北ベトナムの魚雷艇から攻撃を受けたとされる事件。のちにアメリカの捏造と判明。

ベトナム軍の特殊部隊

1965 年　ジョンソン政権が〔　　　　　〕（**北ベトナムへの爆撃**）を開始
→解放民族戦線側の村落を焼き払う焦土戦術をとるアメリカを，国際世論が非難。

3　ベトナム反戦運動とアメリカの撤退

1960年代後半　アメリカ国内で〔　　　　　　　　　　　　　　　〕が高揚

※戦局が泥沼化すると，アメリカの軍事介入への反対運動が全世界に拡大。

1968年　アメリカが**北爆**を停止，戦争終結に向けてパリで和平会議を開催

1970年　〔　　　　　　　　〕大統領が**ニクソン = ドクトリン**を発表

※アジアにおけるアメリカの軍事介入の縮小を提唱。

1971年　戦費の増大から，ドルの信用が低下して〔　　　　　　　　〕（**ドル = ショック**）がおこる

※**ニクソン**大統領がドルの金兌換停止を発表，世界に衝撃を与えた。

→金・ドル本位制を基盤とするブレトン = ウッズ体制が崩壊

1972年　ニクソンがアメリカ大統領として初めて**中国**を訪問

※前年には大統領補佐官キッシンジャーが訪中。

1972年　ニクソンが訪ソ

1973年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕が成立

※アメリカ軍が**ベトナムから撤退**。

→ベトナム戦争の長期化によって、アメリカの国力が疲弊

1974年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕でニクソン大統領が辞任

※ 1972年の大統領選挙で共和党のニクソン陣営が，ウォーターゲート = ビルの民主党本部を盗聴しようとした事件。

ドル = ショックを伝えるニクソン

1975年　北ベトナム軍と解放民族戦線が，**サイゴン**（現ホー = チ = ミン）を占領

→南ベトナム全土を制圧（**ベトナム戦争が終結**）

1976年　ベトナムに〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕が成立

まとめ

ジョンソン大統領は北爆を行いベトナム戦争に介入したが，ニクソン大統領がアジアの軍縮を進めた。

アメリカ国内でベトナム反戦運動がおこり，アメリカの撤退後はアメリカの国力の疲弊が明らかになった。

Chapter 2　ソ連の行き詰まりとヨーロッパの緊張緩和

目標
「プラハの春」に対して，ソ連がどのように対応したのかをおさえよう。
西ドイツのブラント首相が行った外交政策を理解しよう。

1　ソ連の硬化と行き詰まり

1964 年　共産党内の保守派によって**フルシチョフ**が解任される
　→〔　　　　　　　　　　〕が共産党第一書記になる
1968 年　**チェコスロヴァキア**で第一書記〔　　　　　　　　　　〕の指導のもと，民主化と経済改革を進める運動「〔　　　　　　　　　　〕」がおこる
1968 年　ソ連が**ワルシャワ条約機構軍**を率いてチェコスロヴァキアに**軍事介入**し，弾圧
　※ブレジネフは「制限主権論」(**ブレジネフ = ドクトリン**)を主張して，「プラハの春」弾圧を正当化。

ソヴィエトの戦車に破壊されたバリケードの残骸（プラハ）

2　ヨーロッパ共同体の成立

1950 年　フランス外相シューマンが**シューマン = プラン**を提案
1952 年　シューマンの提案を受けて，
　〔　　　　　　　　　　　　　　　〕(ECSC) を発足
　※フランス・西ドイツ・イタリア・ベネルクス 3 国が石炭・鉄鋼資源を共同管理。
1957 年　ECSC を全経済分野に広げる**ローマ条約**を締結
1958 年　ECSC が〔　　　　　　　　　　　　　　〕(EEC) に発展
1958 年　EEC の 6 か国が**ヨーロッパ原子力共同体** (EURATOM) を結成
　※原子力の平和利用を共同で研究。
1960 年　EEC に対抗して，イギリスが〔　　　　　　　　　　　　　　〕(EFTA) を結成
　※オーストリア・スイス・ポルトガル・デンマーク・ノルウェー・スウェーデンと組織。
1967 年　ECSC・EEC・EURATOM が統合して〔　　　　　　　　　　　　〕(EC) が成立

1973 年　イギリス・デンマーク・アイルランドが EC 加盟，〔　　　　　　　〕が成立
※ 1981 年にギリシア，1986 年にスペイン・ポルトガルが加盟。

3 ヨーロッパの状況

①東ドイツ

1961 年　東ドイツ政府が「〔　　　　　　　　　　〕」を建設
→東ベルリンから西ベルリンへの亡命阻止が目的。東西対立の象徴となる

②西ドイツ

1969 年　社会民主党を中心とする連立政権が成立
※〔　　　　　　　〕首相が，ソ連をはじめとする東側諸国との関係改善を図る**東方外交**を展開。

1970 年　西ドイツとポーランドの国交正常化
※オーデル川とナイセ川を境とする国境線（**オーデル＝ナイセ線**）を承認。

1972 年　東ドイツと，〔　　　　　　　　　　　　　　　〕を締結
※東西両ドイツが関係正常化を**相互に承認**
→翌年，東西ドイツが国際連合に加盟

ゲットー英雄の記念碑に跪くブラント

③イギリス

1960 年代　経済不振と国際競争力の低下により「**イギリス病**」と呼ばれる

④フランス

1958 年　第四共和政が，インドシナ・アルジェリアの独立戦争によって崩壊

1958 年　〔　　　　　　　　　〕が政界に復帰，大統領権限の強い**第五共和政**が成立

1960 年　サハラ砂漠で核実験を実施，米・ソ・英に次いで４番目の**核保有国**となる

1962 年　アルジェリアの独立を承認

1964 年　中華人民共和国を承認，国交を正常化

1966 年　NATO の軍事機構から脱退（2009 年復帰）

まとめ
「プラハの春」に対し，ソ連はチェコスロヴァキアに軍事介入を行った。
ブラントは「東方外交」を行いポーランドと国交を結んだほか，東西ドイツ基本条約で東西の関係正常化の相互承認を行った。

第20講 PART5 確認問題

1 1954 年に，インドシナ戦争を終結するために結ばれた協定はどれか。

① サイクス・ピコ協定　② ベトナム和平協定
③ ミズーリ協定　④ ジュネーヴ休戦協定

2 ゴ＝ディン＝ジエム政権打倒と南北統一を目指して，1960 年にベトナムに成立した組織はどれか。

① ベトナム青年革命同志会　② ベトナム独立同盟会（ベトミン）
③ 南ベトナム解放民族戦線　④ ベトナム光復会

3 北爆（北ベトナムへの爆撃）を開始したアメリカ大統領はだれか。

① ジョンソン　② ケネディ
③ アイゼンハワー　④ ニクソン

4 アメリカ大統領として初めて中国を訪問した人物はだれか。

① ジョンソン　② ケネディ
③ アイゼンハワー　④ ニクソン

5 チェコスロヴァキアでおこった「プラハの春」と呼ばれる民主化運動を指導した人物はだれか。

① ブレジネフ　② ドプチェク
③ チャウシェスク　④ ノヴォトニー

6 フランス外相シューマンの提案を受けて，1952 年にフランス・西ドイツ・イタリア・ベネルクス３国が発足させた組織はどれか。

① ヨーロッパ経済共同体　② ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体
③ ヨーロッパ原子力共同体　④ ヨーロッパ自由貿易連合

7 西ドイツのブラント首相が行った，東側諸国との関係改善を図る外交はどれか。

① 善隣外交　② 棍棒外交
③ 東方外交　④ 宣教師外交

8 ド＝ゴールが 1958 年に政界に復帰して成立させた，フランスの政治体制はどれか。

① 復古王政　② 七月王政
③ 第四共和政　④ 第五共和政

第20講　PART 5　確認問題 解答

1 解答：④　フランスは，ベトナム民主共和国（北ベトナム）と**ジュネーヴ休戦協定**を結んでインドシナから撤退した。

2 解答：③　1960 年に**南ベトナム解放民族戦線**が結成され，ベトナム民主共和国と連携してゲリラ戦を展開した。

3 解答：①　北爆（北ベトナムへの爆撃）は，1965 年，**ジョンソン**大統領のときに開始された。

4 解答：④　**ニクソン**は，1972 年にアメリカの大統領として初めて中国を訪問した。

5 解答：②　チェコスロヴァキアでは，1968 年に共産党第一書記**ドプチェク**の指導のもと，「プラハの春」と呼ばれる民主化と経済改革を進める運動がおきた。

6 解答：②　フランス・西ドイツ・イタリア・ベネルクス 3 国は，シューマンの提案で 1952 年，石炭・鉄鋼資源の共同管理を目指す**ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体**（ECSC）を発足させた。

7 解答：③　西ドイツのブラント首相は**東方外交**を行って，東側諸国との関係改善に努めた。

8 解答：④　ド＝ゴールは 1958 年に政界に復帰すると，大統領権限の強い**第五共和政**を成立させ，翌年大統領に就任した。